

結果報告書(特定大規模事業者用)

2025 年 7 月 31 日

神奈川県知事殿

郵便番号 220 - 8625
住 所 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号
氏 名 京浜急行電鉄株式会社
取締役社長 川俣 幸宏

神奈川県地球温暖化対策推進条例第15条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあつては、代表者の氏名	京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏				
事業者の住所又は主たる事務所の所在地	神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号				計画対象
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者(神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則(以下「規則」という。)第2条第1号該当の事業者)	原油換算エネルギー使用量の合計量	5,755 k1	○
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者(規則第2条第2号該当の事業者)		うち 209 k1	
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者(規則第2条第3号該当の事業者)	使用台数	うち k1	
主たる事業の業種	大分類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input checked="" type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S 公務(他に分類されるものを除く)			
	中分類	K 69 不動産賃貸業・管理業			
連絡先	部署名 経営戦略室 サステナビリティ推進担当 電話番号 045 - 255 - 9397 F A X 番号 045 - 255 - 9395 電子メールアドレス mizuki.obara.q7b@keikyu-group.jp				

※受付欄	※特記欄	<書類作成を委託した場合の連絡先> 社名: 株式会社京急ビルマネジメント 部署名: PM事業本部 PM第1部 担当者名: 加藤 碧 電話番号: 045-307-3801 電子メールアドレス: aoi.kato_b8g@keikyu-group.jp
------	------	--

2024	年度	～	2024	年度
------	----	---	------	----

3 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	2023 年度 (年度～ 年度)		2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量	削減率	目標の達成状況				
		基準排出量の合計量	計画の初年度の排出量の合計量								
年度ごとの排出量の推移	年度ごとの排出量の推移	(基) 3,180 tCO ₂	(基) 385 tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	削減率	目標の達成状況				
		(調) 2,930 tCO ₂	(調) 385 tCO ₂	(調) tCO ₂	(調) tCO ₂						
	4年度目の排出量の合計量	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) 5,547 tCO ₂	(基) 87.9 %	削減率	目標の達成状況				
		(調) tCO ₂	(調) tCO ₂	(調) 5,547 tCO ₂	(調) 86.9 %						
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	排出量原単位の単位					最終年度の原単位指標の量				
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	削減率	目標の達成状況				
	年度ごとの排出量原単位の推移	(基)	(基)	(基)	(基)	削減率	目標の達成状況				
		(調)	(調)	(調)	(調)						
4年度目の排出量原単位	(基)	(基)	(基)	(基)	削減率	目標の達成状況					
	(調)	(調)	(調)	(調)							
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p><削減目標の達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●CO2排出量：達成 最終年度のCO2排出量は、基準年度に対して87.9%削減し、目標を達成した。 <p><削減目標の達成の要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ●CO2排出量：達成 ・施設の閉館または縮小、YRP2番館・3番館をはじめとして排出量の大部分を占めていた物件の売却、事業譲渡により排出量が著しく減少した。 <p><報告対象年度に実施した主な削減対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・YRPベンチャー棟において照明器具のLED化工事を行った。 										
設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量		計画の初年度の排出量の合計量		2年度目の排出量の合計量		3年度目の排出量の合計量		削減率	目標の達成状況
		(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂		
	年度ごとの排出量の推移	(調)	tCO ₂	(調)	tCO ₂	(調)	tCO ₂	(調)	tCO ₂	削減率	目標の達成状況
		(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	%		
	4年度目の排出量の合計量	(調)	tCO ₂	(調)	tCO ₂	(調)	tCO ₂	(調)	%	削減率	目標の達成状況
		(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	tCO ₂	(基)	%		
	原単位の指標の種類	排出量原単位の単位		排出量原単位の単位		排出量原単位の単位		排出量原単位の単位		削減率	目標の達成状況
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	削減率	目標の達成状況				
年度ごとの排出量原単位の推移	(基)	(基)	(基)	(基)	削減率	目標の達成状況					
	(調)	(調)	(調)	(調)							
4年度目の排出量原単位	(基)	(基)	(基)	(基)	削減率	目標の達成状況					
	(調)	(調)	(調)	(調)							
削減率	(基)	(基)	(基)	(基)	削減率	目標の達成状況					
	(調)	(調)	(調)	(調)							

4 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用している全ての対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	年度 (年度～ 年度)		2年度目の排出量の合計量	3年度目の排出量の合計量	削減率	目標の達成状況
		基準排出量の合計量 tCO ₂	計画の初年度の排出量の合計量 tCO ₂				
	年度ごとの排出量の推移	4年度目の排出量の合計量 tCO ₂	5年度目の排出量の合計量 tCO ₂	目標とした最終年度の排出量の合計量 tCO ₂		%	
県内で使用している全ての対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	排出量原単位の単位					
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	最終年度の排出量原単位指標の量	
	年度ごとの排出量原単位の推移	4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	%	目標の達成状況
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明							
対象自動車の使用状況	使用台数			割合			
	総数		台				
	うち電気自動車		台				
	うち天然ガス自動車		台				
	うちハイブリッド自動車		台				
	うちディーゼル代替LPガス自動車		台				
使用している全ての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出に関する状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量の合計量 tCO ₂	計画の初年度の排出量の合計量 tCO ₂	2年度目の排出量の合計量 tCO ₂	3年度目の排出量の合計量 tCO ₂	削減率	目標の達成状況
		4年度目の排出量の合計量 tCO ₂	5年度目の排出量の合計量 tCO ₂	目標とした最終年度の排出量の合計量 tCO ₂		%	
	年度ごとの排出量原単位の推移	原単位の指標の種類	排出量原単位の単位				
		基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位		
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	%	目標の達成状況

5 排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

	計画	実施の結果
工場等に排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置(規則第2条第1号又は第2号該事業者)	<p><運用対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備(1101) <ul style="list-style-type: none"> ・計画推進責任者および推進責任者、技術管理者を選任し、推進体制の維持向上を図る。 ○主要設備等の保安全管理(1103) <ul style="list-style-type: none"> ・設備機器の適切な運用と日常点検による維持保全を継続実施する。 ○エネルギー使用量の管理(1105) <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所において月ごとのエネルギー使用量を継続把握し、前年との比較、稼働床面積等の影響を検討し、使用量の適切な管理、削減対策の早期実施、課題発掘等の実施につなげ、改善を図る。 ○その他(9999) <ul style="list-style-type: none"> ・購入電力をCO2排出係数の少ないプラン、購入ガスをカーボンニュートラルLNGへ変更することを検討 ・地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書をはじめとするクレジットの活用などを検討 <p><設備導入等対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ○空調調和設備対策(1201) <ul style="list-style-type: none"> ・空調換気設備の計画的な更新・整備を実施する。 ○換気設備対策(1204) <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策と省エネの両立を図るため、最新の全熱交換器の導入エリアを拡大する。 ○照明設備対策(1401) <ul style="list-style-type: none"> ・既存の事業所でのLED化を計画的に推進する。 	<p><運用対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備(1101) <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、計画推進責任者および推進責任者、技術管理者を選任し、推進体制を維持している。 ○主要設備等の保安全管理(1103) <ul style="list-style-type: none"> ・設備機器の適切な運用と日常点検による維持保全を継続実施した。 ○エネルギー使用量の管理(1105) <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所において月ごとのエネルギー使用量を継続把握し、前年との比較、稼働床面積等の影響を検討し、使用量の適切な管理、削減対策の早期実施、課題発掘等の実施につなげ計画につなげるように提案した。 ○その他(9999) <ul style="list-style-type: none"> ・購入電力をCO2排出係数の少ないプラン、購入ガスをカーボンニュートラルLNGへ変更することを検討し、電気はグループ本社で採用した。 ・地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書、クレジットの活用については、検討を進めている。 <p><設備導入等対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ○空調調和設備対策(1201) <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度に、空調換気設備の計画的な更新・整備を実施した。 ○照明設備対策(1401) <ul style="list-style-type: none"> ・久里浜京急ビル等の駅ビルでは、テナントの入れ替わりを機に、照明設備のLED化を推奨しており、実際にLED化を推進するテナントも増加しているため、結果が出ている。
対象自動車の排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置(規則第2条第3号該事業者)	計画	実施の結果
再生可能エネルギー等の導入その他の具体的な措置	計画	実施の結果

6 地域の地球温暖化対策の推進への貢献

計画	実施の結果
<p><自然環境の保全と利活用> ○環境保全活動を通じた、人と自然が健やかにつながる未来を目指す「みうらの森林プロジェクト」の継続実施、および活動内容を拡充させる。</p>	<p><森林保全・緑化推進> ○「小網近代緑地特別保全地区」内に所有する約10haを自主保全し、自然環境や生態系の維持形成に寄与した(継続中)。 ○環境保全活動を通じて、人と自然が健やかにつながる未来を目指す、当社は「みうらの森林プロジェクト」として、三浦半島に所有する社有林において、間伐等による適切な森林管理を行った(2023年度より継続管理実施中)。 また、この森林管理を通じて発生した木々を、沿線の発電所において木質バイオマス燃料として発電に使用し、さらに発電された再生可能エネルギーの環境価値を有する電気を当社施設に導入するなど、エネルギーの地産地消を体現した。2023年度から間伐材のアップサイクル(ダンブラー・ベンチ等)を実施している。</p>

7 温室効果ガスの排出の量の削減に寄与する製品の開発その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に関する取組

計画	実施の結果
<p><再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力導入> ○既に導入している京急グループ本社をはじめ、神奈川県下における当社所有施設において、再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力の継続と新規導入を推進する。</p>	<p>○再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力の採用 ・2024年度の実績としてCO2換算約914トン削減した。また京急グループ本社ビルにおいて東京電力エナジーパートナーのグリーンベーシックプランを採用し、電力由来のCO2排出量をゼロとした。</p>

10 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況、排出量の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地	神奈川県		
工場等の規模	建築物の延べ面積		m ²
連絡先	部署名		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	電子メールアドレス		

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	年度ごとの排出量の推移	基準排出量	計画の初年度の排出量	2年度目の排出量	3年度目の排出量	目標の達成状況
		(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	
		4年度目の排出量	5年度目の排出量	目標とした最終年度の排出量	削減率	
		(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) tCO ₂	(基) %	
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位			
	年度ごとの排出量原単位の推移	基準年度の排出量原単位	計画の初年度の排出量原単位	2年度目の排出量原単位	3年度目の排出量原単位	最終年度の原単位指標の量
		(基)	(基)	(基)	(基)	
		4年度目の排出量原単位	5年度目の排出量原単位	目標とした最終年度の排出量原単位	原単位削減率	目標の達成状況
		(基)	(基)	(基)	(基) %	
計画期間内におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明						

(3) 工場等の排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

	対策の区分		対策の内容	実施状況	未実施の理由
	番号	名称			
1				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
2				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
3				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
4				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
5				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
6				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
7				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
8				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
9				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
10				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
11				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
12				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
13				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
14				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
15				<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	

- 備考
- ※印の欄は、記入しないでください。
 - のある欄には、該当する内にレ印又は■を付してください。
 - 第4面の5の欄には、排出量の削減の目標を達成するための事業者の対策の計画及び実施の結果を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
 - 第5面の6の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組の計画及び実施の結果を記載してください。
 - 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
 - 規則第2条第3号該当の事業者にあつては、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類、使用している自動車の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

(第1面)

事業活動温暖化対策計画書

(宛先) 神奈川県知事

(提出者) 住 所 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号
法人・団体名 京浜急行電鉄株式会社
代表者役職 取締役社長
代表者氏名 川俣 幸宏

神奈川県地球温暖化対策推進条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名 又は名称	法人・団体名	京浜急行電鉄株式会社		
	代表者役職	取締役社長	代表者氏名	川俣 幸宏
事業者の住所又は主たる事務所の所在地	神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号			
条例施行規則第2条第1項 各号のうち該当する号等	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第2条第1項第1号	業務 部門	
	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第2条第1項第2号	部門	
	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第2条第1項第3号	部門	
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業,物品賃貸業		
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業		

2 事業の規模等

事業の規模			対象区域
原油換算エネルギー 使用量の合計量	全 県	5,755 kL	<input type="checkbox"/>
	横浜市・川崎市を除く県域	209 kL	<input checked="" type="checkbox"/>
対象自動車 の使用台数	全 県	台	<input type="checkbox"/>
	横浜市・川崎市を除く県域	台	<input type="checkbox"/>

3 計画の期間

計画の期間	2025年度～	2027年度	(基準年度： 2024年度)
-------	---------	--------	----------------

4 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

当社は2022年4月に、グループ理念のもとで「社会の持続的発展への貢献」と「京急グループの持続的発展」のよりよい循環を目指す「サステナビリティ基本方針」を策定した。同年6月にはTCFD提言に基づく情報を開示するとともに、長期環境目標として「京急グループ2050年カーボンニュートラル」を策定した。従来の中間目標である、温室効果ガス排出量(Scope1・2)、「2030年度対2019年度30%削減」を2024年度に達成し、また、日本政府が中間目標の見直しを2025年2月に閣議したこと等をふまえ、中間目標を「2035年度対2019年度70%削減」と新たに設定した。

5-1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための対策に係る事項（第1号又は第2号該当事業者）

(1) 比較年度等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の量

比較年度の排出量	(基)	6,830 tCO ₂
(2013年度)	(調)	6,820 tCO ₂
基準年度の前々年度の排出量	(基)	3,760 tCO ₂
(2022年度)	(調)	3,840 tCO ₂
基準年度の前年度の排出量	(基)	3,180 tCO ₂
(2023年度)	(調)	2,930 tCO ₂

(2) エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減目標及び排出の状況

		計画		実績		
		基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
排出量	(基)	385 tCO ₂	382 tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
	(調)	385 tCO ₂	382 tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
基準年度比削減率	(基)		0.8 %	%	%	%
	(調)		0.8 %	%	%	%
直近の排出量削減率 (直近3年平均 ^{※1})	(基)		0.3 %	%	%	%
	(調)		0.3 %	%	%	%
過去からの排出量削減率(比較年度比)	(基)	94.4 %	94.4 %	%	%	%
	(調)	94.4 %	94.4 %	%	%	%

※1) 基準年度以前の排出量データがない場合は、データが入力されている期間の平均値

(3) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための主な対策

対策区分	計画 内容	実績		
		第1年度	第2年度	第3年度
設備導入等対策	所有物件におけるLED化の推進			

(4) エネルギー管理指定工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況（基礎排出量）

名称	所在地	計画	実績		
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂
		0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂	0 tCO ₂

5 - 2 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための対策に係る事項 (第3号該当事業者)

(1) 比較年度等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の量

比較年度の排出量	(基)	tCO ₂
(年度)	(調)	tCO ₂
基準年度の前々年度の排出量	(基)	tCO ₂
(2022 年度)	(調)	tCO ₂
基準年度の前年度の排出量	(基)	tCO ₂
(2023 年度)	(調)	tCO ₂

(2) エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減目標及び排出の状況

		計画		実績		
		基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
排出量	(基)	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
	(調)	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂	tCO ₂
基準年度比削減率	(基)	/	%	%	%	%
	(調)	/	%	%	%	%
直近の排出量削減率 (直近3年平均 ^{※2})	(基)	/	%	%	%	%
	(調)	/	%	%	%	%
過去からの排出量削減率(比較年度比)	(基)	%	%	%	%	%
	(調)	%	%	%	%	%

※2) 基準年度以前の排出量データがない場合は、データが入力されている期間の平均値

(3) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための主な対策

対策区分	計画		実績		
	内容		第1年度	第2年度	第3年度

(第3面)

6-1 エネルギーの使用の合理化に係る事項 (第1号又は第2号該当事業者)

(1) エネルギー消費原単位の指標

指標の名称	延床面積
指標の単位	m ²

(2) エネルギー消費原単位の改善目標及び改善の状況

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー消費原単位※3	0.01343 kL/m ²	0.01303 kL/m ²	kL/m ²	kL/m ²	kL/m ²
改善率(対基準年度比)		3.0 %	%	%	%
改善率(対前年度比)		1.0 %※4	%	%	%

※3) 複数指標を設定した場合、基準年度のエネルギー消費原単位を100と表示。 ※4) 年率

6-2 エネルギーの使用の合理化に係る事項 (第3号該当事業者)

(1) エネルギー消費原単位の指標

指標の名称	
指標の単位	

(2) エネルギー消費原単位の改善目標及び改善の状況

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー消費原単位	kL/	kL/	kL/	kL/	kL/
改善率(対基準年度比)		%	%	%	%
改善率(対前年度比)		%※5	%	%	%

※5) 年率

7-1 再生可能エネルギー等の利用又は導入に係る事項 (第1号又は第2号該当事業者)

(1) 工場等における使用電力量に占める再生可能エネルギー由来の電力量等の割合

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
割合	0 %	1 %	%	%	%

7-2 再生可能エネルギー等の利用又は導入に係る事項 (第3号該当事業者)

(1) 乗用自動車における電気自動車及び燃料電池自動車の導入状況 (対象年度末時点)

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
①電気自動車	台	台	台	台	台
②燃料電池自動車	台	台	台	台	台
③その他	台	台	台	台	台
所有台数の合計	0 台	0 台	0 台	0 台	0 台
①・②の割合	- %	- %	- %	- %	- %

(2) バス及び貨物自動車における電気自動車及び燃料電池自動車の導入状況 (対象年度末時点)

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
所有台数	台	台	台	台	台

8 2050年までの脱炭素社会の実現に寄与する中長期的な取組に係る事項

(1) 2050年までの脱炭素化の表明 (対象年度末時点)

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
脱炭素化の表明の有無	有り	有り			
脱炭素化目標年度	2050年度	2050年度	年度	年度	年度
主たる表明者	自ら				
その他の場合の内容					
表明に係る情報掲載先	URL	https://www.keikyu.co.jp/company/csr/environment.html			
	その他				

(2) 2050年までの脱炭素化を前提とした中長期計画の策定及び公表 (対象年度末時点)

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
計画の策定等の状況	公表	公表			
主たる策定者	自ら				
その他の場合の内容					
公表に係る情報掲載先	URL	https://www.keikyu.co.jp/company/csr/environment.html			
	その他				

(3) SBT等イニシアティブに関する取組 (対象年度末時点)

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
SBT認定の取得	無し	無し			
TCFD提言への賛同	有り	有り			
RE100への参加	無し	無し			
RE Actionへの参加	無し	無し			

(4) サプライチェーン全体での削減の取組

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
SC排出量算定による削減対象の特定	有り	有り			
SC排出量開示等による関係者への削減要請	有り	未定			
SC全体の排出量削減目標の設定	無し	未定			
その他					

※SC：サプライチェーンの略

9 地域の地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

	計画		実績		
	基準年度	目標年度	第1年度	第2年度	第3年度
取組の有無	有り	有り			
取組の内容	適切な森林管理等を行う「みうらの森林プロジェクト」の継続的实施。	適切な森林管理等を行う「みうらの森林プロジェクト」の継続的实施。			